

## 元気な笑顔が学校に戻ってきました！

短かった夏休みも終わり、校舎に子どもたちの声に戻ってきました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で例年と比べ、夏休みが短かったですが、中身の濃い夏休みを過ごしたことと思います。朝から子どもたちの元気なあいさつの声が校舎に響き渡りました。にこやかな笑顔がいっぱい見られ、安心しました。

教室では、登校してきて少し休憩したあと、久しぶりに会う友達と楽しそうに距離をおいて話をする姿、委員会の仕事としてのあいさつ運動をする姿、係の仕事をする姿など、夏休み前と変わらない朝の風景でした。

そして、朝の活動のチャイムが鳴ると子どもたちは、誰に言われるのでもなく、自ら判断して自分の席に座り、朝の活動の準備をしていました。夏休みモードから早速、学校モードに切り替えている姿が本当に素晴らしかったです。

授業でも夏休みに入る前の集中力で授業に向かっていました。きっと、ご家庭で生活リズムが崩れないように働きかけていただいた結果だと思えます。ありがとうございました。



## 【残暑が続く日々から『自ら命は自分で守る』ために】

8月中旬から40℃に迫る勢いで日中の気温が上昇し、エアコンが手放せない状況です。熱中症にならないために、学校生活では、次の点に配慮しています。

- ① 十分な水分補給ができるように、授業中であつてもものが渴けば、水分補給をするように声掛けをしています。
- ② WBGT の表示板を設営し、業間休み・昼休みに放送をかけることで、子どもたちが常に熱中症予防を意識して行動できるようにしています。
- ③ 下校では、放送で分団ごと知らせ、直前までエアコンの中で待機するように配慮しています。
- ④ 下校の途中で、水分補給する場所を確保し、必ず水分補給をするようにしています。
- ⑤ 登下校では、間隔を確保し、会話はなしでマスクは外して登下校するようにしています。また、日差しを避けるために日傘として傘を使用することや冷却タオルを使用してもよいという指導しています。

